

都城市議会議長 様

提出日 令和5年6月12日

令和創生 代表 江内谷 満 義



視 察 報 告 書

以下のとおり視察の報告をいたします。

1 会派名及び視察者名

会派名 令和創生

参加者名 ・江内谷満義・榎木智幸・別府英樹・中村千佐江・楠見千穂子

2 視察先・テーマ及び日時

令和5年5月23日（火） 15時30分から17時30分

東京都 永田町 衆議院会館及び参議院議員会館

15時30分 古川 禎 久 衆議院議員

16時30分 松 下 新 平 参議院議員

17時00分 長 峯 誠 参議院議員

3 視察の内容

地域高規格道路「都城志布志道路」は、平成6年に計画路線に指定されたものである。令和4年3月12日に乙房IC～横市IC間の約3KMが開通したことにより、現時点の供用率が約80%になったもの。さらに令和6年度中には、都城ICと乙房IC開通予定と公表されており、完成すると全長44KMの内41KMが供用済となり、全線開通が見えつつある。

そのような折、更に一日も早い全線開通を目指しての要望をお願いするもの。

4 視察の感想

地元選出の3人の国会議員に、都城志布志道路の完成に向けた要望や意見の伝達を行った。

- ・都城志布志道路の早期完成を要望した。
- ・建設に伴う地域振興策の充実・重要性を求めた。
- ・環境に配慮した建設、安全性をの確保に伴う建設を求めた。

国・県・市が行政だけでなく、議員同士もしっかり縦横に繋がって、地元の声を要望として届けていくことは大事だと改めて思った。同時にご尽力くださる

地元選出の国会議員に事業の成果における地元の喜びの声や、便利になった具体例をお伝えすることも大切であるし、私達地方議員の役割だと実感した。

今回の陳情・要望は、約30年間の長きにわたる「都城志布志道路」の、全線開通を目前にした時期であり「今日までのご尽力のお礼も含め、最後の締めくくりのお願い」でもあった。

3人の国会議員の方々も、我々の要望もしっかり受け止めていただいた。と感じた。

5 視察の成果及び市政への反映等

この研修の少し前の5月13日に開催された「都城志布志道路建設促進総決起大会」には、多くの市民の方々も参加されホールが埋め尽くされていた。圏域の市民が一丸となって要望活動を行うことの大切さを感じた。

これからも、要望活動を継続的に行えるよう、議会内への呼びかけや市民の啓発を心がけていきたいと思った。

本研修を機に、市の担当者や関係者に、報告の機会を持ち情報を共有することは大切であろう。

完成後の「九州縦貫道都城 IC」と「都城志布志道路」の接続した後の、「防災」「経済」「医療」の圏域の新たな展開も、取り組んでいただきたい。

6 添付資料

- ・都城志布志道路整備促進に関する要望書



5月23日 古川禎久 議員会館で「要望書」提出